

2024年1月10日

各 位

会社名 株式会社ユーグレナ
代表者名 代表取締役社長 出雲 充
(コード番号: 2931)
問合せ先 代表執行役員 若原 智広
Co-CEO 兼 CFiO
(TEL.03-3454-4907)

簡易株式交換による株式会社サティス製薬及び日本ビューテック株式会社の 完全子会社化に関するお知らせ

株式会社ユーグレナ（以下「当社」といいます）は、本日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社サティス製薬（以下「サティス製薬」といいます）及び日本ビューテック株式会社（以下「日本ビューテック」といい、サティス製薬と総称して「サティス製薬グループ」といいます）を株式交換完全子会社とする簡易株式交換（以下「本株式交換」といいます）を実施することを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本株式交換は、サティス製薬及び日本ビューテックにおける2024年1月15日開催予定の臨時株主総会での本株式交換の承認を条件としております。また、当社は、会社法第796条第2項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

記

1. 本株式交換による完全子会社化の目的

当社グループは、ユーグレナ・フィロソフィー「Sustainability First」のもと、健康食品や化粧品等の販売を通じて人々のサステナブルな健康の実現を目指すヘルスケア事業、バイオ燃料製造・販売の商業化やユーグレナ等を活用したバイオ燃料開発等を目指すバイオ燃料事業、肥料・バイオインフォマティクス・ソーシャルビジネスといったサステナビリティ関連領域等におけるその他事業等、サステナビリティを軸とした多様な事業を展開しており、オーガニック成長に向けた投資を推進するとともに、パートナーシップやM&Aを積極的に拡大することで、更なる事業成長を通じたサステナブルな社会の実現を目指しています。

当社グループは、ヘルスケア事業が着実な成長を遂げており、2022年12月期の連結売上高は444億円となり、過去最高を達成しました。当社グループ売上の成長は当社グループ商品の販売拡大と昨今のM&Aが牽引しており、引き続き直販を中心にヘルスケア事業の拡大を進めてまいります。

サティス製薬グループは、「人と地球をもっと綺麗に、ずっと綺麗に」という当社と親和性の高いミッション、及び「1人でも多くの女性に正しい綺麗を」という理念を掲げ、さまざまな製品ニーズに応えることのできるハイレベルな製品開発力、そしてその製品開発力を支える素材研究や独自原料の開発までを自社で行う高い研究開発力を有し、D2C化粧品ブランドを展開する企業から高い評価を受けている化粧品開発製造（以下、Original Design Manufacturingを略称し「ODM」といいます）企業です。サティス製薬グループは、D2C化粧品の中でも特に高い成長性を見込めるスタートアップ・小規模企業のセグメントに特化しており、高い市場成長性を取り込んでいける独自のポジ

ションを形成しています。なお、サティス製薬は化粧品の研究から、企画・開発、製造に至るまで ODM に関連する全ての機能、日本ビューテックは製造及び充填包装に特化した機能をそれぞれ有しており、相互に連携・補完して両社一体で ODM 事業を営んでいます。

当社グループは現在、ヘルスケア事業において化粧品ブランドの企画・販売を行っておりますが、化粧品の生産工場を有していないことから基本的に自社で製造は行っておりません。一方で、化粧品マーケットにおいては顧客ニーズの多様化が進んでおり、当社ブランド以外の多様なブランドを通して人々のニーズに合致したヘルスケア商品を提供することの必要性が高まってきていることから、ODM 機能を獲得し、ODM 事業の拡大・展開を進めることの重要性を認識してきておりました。しかしながら、本格的な ODM 事業の展開には、工場建設の資金だけでなく、多大な時間を要することを課題と感じておりました。

本株式交換により、当社グループは化粧品 ODM 機能を持つこととなり、化粧品の企画から開発、製造、販売に至るまで、全バリューチェーンに係る機能を有することで、当社ブランド以外の多様なブランドを通じた化粧品の提供が可能となります。その上で、当社グループの強みである基礎研究力及び営業・マーケティング力と、サティス製薬グループの強みである化粧品に特化した研究開発力及び製品開発力を組みあわせることで、サティス製薬グループの得意としているスタートアップ・小規模企業の化粧品ブランド開発・成長支援をより強く推し進めることができると考えております。

サティス製薬グループが当社グループに参画することで、上述の通り両グループの機能と強みを掛け合わせてシナジーを創出し、更なる成長を実現しながら、ヘルスケア事業に関連するサステナブルな未来を共に創り上げていけるとの判断から、本株式交換に至りました。

2. 本株式交換の方法

当社は、サティス製薬の発行済株式数 2,275,000 株、及び日本ビューテックの発行済株式数 10,000 株を本株式交換により取得し、これらによりサティス製薬及び日本ビューテックを完全子会社化する予定です。

3. 本株式交換の概要

(1) 本株式交換の日程

株式交換契約締結決議取締役会（当社）	2024年1月10日
株式交換契約締結（両社）	2024年1月10日
株式交換承認臨時株主総会（サティス製薬及び日本ビューテック）	2024年1月15日（予定）
株式交換効力発生日	2024年2月1日（予定）

（注1）当社は、会社法第796条第2項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

（注2）株式交換効力発生日は、両社の合意により変更されることがあります。

(2) 本株式交換の方式

本株式交換は、当社を株式交換完全親会社とし、サティス製薬及び日本ビューテックを株式交換完全子会社とする株式交換となります。当社は、会社法第796条第2項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。サティス製薬及び日本ビューテックは、2024年1月15日に開催予定の臨時株主総会の決議による承認を受けた

上で本株式交換を行う予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

本株式交換については、変動性株式交換比率方式を採用しております。変動性株式交換比率方式とは、株式交換決定時に株式交換完全子会社の株式価値を確定し、サティス製薬及び日本ビューテックの普通株式1株につき対価として交付される当社普通株式の割当株数を、効力発生日の直前の一定期間における当社株式の平均株価を基に決定するものであります。

本株式交換においては、当社は、本株式交換により当社がサティス製薬及び日本ビューテックの発行済株式の全部を取得する時点の直前時（以下「基準時」といいます）に、サティス製薬及び日本ビューテックの株主名簿に記載されたサティス製薬及び日本ビューテックの株主に対し、サティス製薬及び日本ビューテックの普通株式に代わり、その所有するサティス製薬及び日本ビューテックの普通株式の数に、以下の算式により算出される株式交換比率を乗じて得た数の当社の普通株式を割り当てます。当社は、本株式交換による株式の交付に際し、新たに普通株式を発行する予定です。

現時点では、当社の普通株式の平均価格が未確定であることから、株式交換比率も未確定であり、当社の普通株式の平均価格が確定次第、確定後の株式交換比率の開示を行う予定です。

サティス製薬 株式交換比率 = 4,600 円 (※1) / 当社の普通株式の平均価格 (※2)

日本ビューテック 株式交換比率 = 150,000 円 (※1) / 当社の普通株式の平均価格 (※2)

※1 以下4.(2)記載の手法により算定した、サティス製薬及び日本ビューテックの普通株式1株当たりの評価額

※2 以下4.(2)記載の手法により算定した、当社の普通株式1株当たりの平均値

(注1) 株式交換比率の計算方法

株式交換比率は、サティス製薬については小数第4位まで算出し、その小数第4位を四捨五入します。日本ビューテックについては小数第2位まで算出し、その小数第2位を四捨五入します。

(注2) 株式交換により交付する株式数等

当社は、基準時におけるサティス製薬及び日本ビューテックの株主の所有するサティス製薬及び日本ビューテックの普通株式数の合計数に、上記株式交換比率を乗じて得た数の当社の普通株式を交付します。当社は、本株式交換による株式の交付に際し、新たに普通株式を発行する予定です。

(注3) 1株に満たない端数の取扱い

本株式交換に伴い、当社の普通株式1株に満たない端数が生じた場合、会社法第234条の規定に従い、1株に満たない端数部分に応じた金額をサティス製薬及び日本ビューテックの株主に対して支払います。

通常の株式交換においては、株式交換契約締結・公表時（以下「公表時」といいます）に、株式交換比率、及び株式交換完全子会社の株主に対して対価として交付される株式交換完全親会社の株式数を確定いたします。そのため、公表時においては、株式交換完全子会社の株主が最終的に効力発生日において所有することとなる株式交換完全親会社株式に係る価値までは確定せず、公表時から効力発生日の間における株式交換完全親会社株式の株価動向によって変動することとなります。

それに対して変動性株式交換比率方式では、公表時に、株式交換完全子会社に係る価値を確定し、株式交換完全子会社株式1株につき対価として交付される株式交換完全親会社の株式数を、効力発生日の直前の一定期間における株式交換完全親会社株式の平均株価を基に決定いたします。そのため、通常の株式交換と比べて、株式交換完全子会社の株主が効力発生日において所有することとなる株式交換完全親会社株式に係る価値が、効力発生日までの間の株価動向によって変動する期間が短縮され、株式交換完全子会社株式に係る価値と近似することが見込まれます。

当社とサティス製薬及び日本ビューテックは、これらの特徴を検証した上で、いずれが最適な方式かを慎重に協議した結果、株式交換完全子会社の株主が最終的に効力発生日において所有することとなる株式交換完全親会社株式に係る価値を、上記のサティス製薬及び日本ビューテック株式評価額に近似させることが適切であると判断し、最終的に変動性株式交換比率方式を採用することにいたしました。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

本株式交換により完全子会社となるサティス製薬及び日本ビューテックは、新株予約権及び新株予約権付社債のいずれも発行していないため該当事項はありません。

4. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社は株式会社ユニヴィスコンサルティング（以下「ユニヴィス」といいます）によるサティス製薬及び日本ビューテックの株式価値の算定結果を参考に、サティス製薬及び日本ビューテックの財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、当社、サティス製薬及び日本ビューテックの間で株式交換比率について慎重に協議を重ねた結果、最終的に本株式交換における株式交換比率の算式を上記3.(3)記載のとおりとすることが妥当であるとの判断に至り、合意いたしました。なお、この株式交換比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、当社とサティス製薬及び日本ビューテックの協議により変更されることがあります。

(2) 算定に関する事項

① 算定機関の名称並びに当社、サティス製薬及び日本ビューテックとの関係

当社は、本株式交換に用いられる株式交換比率の検討に際し、その公平性・妥当性を確保するため、当社、サティス製薬及び日本ビューテックと重要な利害関係を持たず、独立した第三者機関であるユニヴィスに、サティス製薬及び日本ビューテックの株式価値の算定を依頼することとしました。

② 算定の概要

ユニヴィスは、サティス製薬及び日本ビューテックの普通株式については、非上場会社であることから市場株価法は採用せず、また、事業規模等の観点から参照しうる類似上場会社がないことから類似上場会社法は採用せず、その株式価値の源泉は将来の収益獲得能力にあることから、修正簿価純資産法ではなく、将来の事業活動の状況に基づく収益獲得能力を評価に反映させるためにディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（DCF法）を用いて株式価値の算定を行いました。ユニヴィスは、サティス製薬及び日本ビューテックの株式価値算定に際して、提供を受けた情報、ヒアリングにより聴取した情報、一般に公開されている情報等を原則としてそのまま採用しております。ま

た、採用したそれらの資料及び情報が全て正確かつ完全なものであること、サティス製薬及び日本ビューテックの株式価値算定に重大な影響を与える可能性のある未開示の情報は存在しないこと、かつ、サティス製薬及び日本ビューテックの将来の利益計画や財務予測が現時点における最善の予測と判断に基づき合理的に作成されていることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。

なお、DCF法による算定の基礎となる将来の利益計画においては、大幅な増減益は見込んでおりません。

ユニヴィスがDCF法に基づき算定した、サティス製薬及び日本ビューテックの普通株式の1株当たりの株式価値の算定結果は以下のとおりとなりました。

	算定結果 (円/株)
DCF 法	サティス製薬：4,298 円～5,428 円 日本ビューテック：144,065 円～177,916 円

対価として交付する当社の株式価値については、変動性株式交換比率方式であることから本株式交換の効力発生直前の市場株価を採用することが望まれますが、効力発生日前に株式交換実行に係る事務対応期間として5取引日を設けているため、その直前の期間の市場株価を採用しております。加えて、市場株価を採用する期間を1取引日とする等、過度に短期とした場合、一時的な要因により当社の市場株価が大きく変動し、当社の株式価値に影響を与えてしまう可能性があることから、効力発生直前の市場株価に極力近似させながらも一時的な市場変動が発生した場合の影響を緩和させることを企図し、当該事務対応期間の直前の5取引日における各取引日の終値の平均値を採用して当社の株式価値を算定することが妥当と判断しました。

上述の点を踏まえ、当社の株式価値は、東京証券取引所プライム市場における2024年1月18日（同日を含みます）から同年1月24日（同日を含みます）までの5取引日における各取引日（ただし、取引が行われなかった日を除きます）の当社の普通株式1株当たりの終値の平均値（ただし、小数第1位まで算出し、その小数第1位を四捨五入します）を採用し、同年1月24日を算定基準日として算定いたします。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

当社は本株式交換において株式交換完全親会社となり、また株式交換完全子会社であるサティス製薬及び日本ビューテックは非上場会社のため、該当事項はございません。

(4) 公正性を担保するための措置

公正性を担保するための措置として、本株式交換の実施に当たり、当社は、当社、サティス製薬及び日本ビューテックと重要な利害関係を持たず、独立した第三者算定機関であるユニヴィスに、サティス製薬及び日本ビューテックの株式価値の算定を依頼し、その算定結果を参考にして、サティス製薬及び日本ビューテックとの間で真摯に協議・交渉を行い、本株式交換を行うことについて、本日開催の取締役会において決議いたしました。

また、本株式交換に関する当社のリーガル・アドバイザーとして、ユニヴィス法律事務所を選任し、法的な観点から諸手続き及び対応等について助言を受けております。

なお、当社は、第三者算定機関からサティス製薬及び日本ビューテックの普通株式の1株当たり

の価値の公正性に関する評価（フェアネス・オピニオン）は取得していません。

(5) 利益相反を回避するための措置

当社及びサティス製薬グループは、本件株式交換を行うことを決議した 2024 年 1 月 10 日現在において、相互に役員を派遣する等の人的関係はなく、また、当社及びサティス製薬グループの株主との間においても人的関係はありません。そのため、当社及びサティス製薬グループ、並びに当社及びサティス製薬グループの株主との間において特段の利益相反関係は生じないことから、特別な措置は講じておりません。

5. 本株式交換の当事会社の概要

	株式交換完全親会社	
(1) 名 称	株式会社ユーグレナ	
(2) 所 在 地	東京都港区芝五丁目 29 番 11 号	
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 出雲 充	
(4) 事 業 内 容	1. ユーグレナ等の微細藻類等の研究開発、生産 2. ユーグレナ等の微細藻類等の食品、化粧品の製造、販売 3. ユーグレナ等の微細藻類等のバイオ燃料技術開発、環境関連技術開発 4. バイオテクノロジー関連ビジネスの事業開発、投資等	
(5) 資 本 金	158 億 6779 万円 (2023 年 9 月 30 日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	2005 年 8 月 9 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	117,150,662 株 (2023 年 9 月 30 日現在)	
(8) 決 算 期	12 月 31 日	
(9) 従 業 員 数	865 名 (連結) (2022 年 12 月 31 日現在)	
(10) 主 要 取 引 先	一般消費者、アリナミン製薬(株)等 OEM 取引先、伊藤忠商事(株)、アピ(株)・(株)三協等仕入先、等	
(11) 主 要 取 引 銀 行	三井住友銀行、みずほ銀行	
(12) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	出雲 充	10.52%
	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	9.65%
	(株)日本カストディ銀行(信託口)	4.20%
	株式会社丸井グループ	1.83%
	STATE STREET BANK WEST CLIENT -	1.33%
	TREATY	
	亀谷 誠一郎	1.15%
	JP MORGAN CHASE BANK	0.97%
	ロート製薬株式会社	0.91%
	RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-UCITS	0.85%
	東京センチュリー(株)	0.85%
	(2023 年 6 月 30 日現在)	

(13)	当事会社間の関係			
	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	当社の子会社である株式会社 LIGUNA 及び株式会社エポラより、サティス製薬に対して化粧品製造を委託しております。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(14)	最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：百万円。特記しているものを除く。）			
	決算期	株式会社ユーグレナ（連結）		
		2020年9月期	2021年12月期	2022年12月期
	純資産	9,386	20,588	19,353
	総資産	15,351	61,007	57,275
	1株当たり純資産（円）	100.58	181.35	167.34
	売上高	13,317	34,420	44,392
	営業利益	△1,807	△6,565	△3,455
	調整後 EBITDA	△732	1,368	2,649
	経常利益	△1,457	△6,354	△2,489
	親会社株主に帰属する当期純利益	△1,486	△5,038	△2,672
	1株当たり当期純利益（円）	△16.00	△49.07	△23.83
	1株当たり配当金（円）	-	-	-

		株式交換完全子会社 1		
(1) 名 称	株式会社サティス製薬			
(2) 所 在 地	埼玉県吉川市中井 57 番地 1			
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 山崎 智士			
(4) 事 業 内 容	1. 医薬品、医薬部外品の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品品の製造、販売及び輸出入 3. 日用品雑貨の販売及び輸出入 4. 医療用機械器具、美容機器、健康機器の製造、販売及び輸出入 5. 飲料水及びビタミン、クロレラ、ディーエイチエー等を含んだ健康食品の製造、販売及び輸出入 6. 食料品の販売及び輸出入 7. 衣料品の販売及び輸出入 8. 美顔、脱毛、痩身、ヘアメイク等全身美容の指導、実施及び全身美容室の経営 9. 前各号に付帯する一切の業務			
(5) 資 本 金	5120 万円 (2023 年 11 月 30 日現在)			
(6) 設 立 年 月 日	1999 年 12 月 8 日			
(7) 発 行 済 株 式 数	2,275,000 株 (2023 年 11 月 30 日現在)			
(8) 決 算 期	12 月 31 日			
(9) 従 業 員 数	188 名 (2023 年 11 月 30 日現在)			
(10) 主 要 取 引 先	化粧品販売会社			
(11) 主 要 取 引 銀 行	三菱 UFJ 銀行、埼玉りそな銀行、みずほ銀行			
(12) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	株式会社綺麗創造ホールディングス			100.00%
(2023 年 11 月 30 日現在)				
(13) 当 事 会 社 間 の 関 係				
資 本 関 係	該当事項はありません。			
人 的 関 係	該当事項はありません。			
取 引 関 係	当社の子会社である株式会社 LIGUNA 及び株式会社エポラより、サティス製薬に対して化粧品製造を委託しております。			
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。			
(14) 最 近 3 年 間 の 経 営 成 績 及 び 財 政 状 態 (単 位 : 百 万 円 。 特 記 し て い る も の を 除 く 。)				
決 算 期	株式会社サティス製薬 (個別)			
	2020 年 12 月 期	2021 年 12 月 期	2022 年 12 月 期	
純 資 産	3,093	3,727	4,278	
総 資 産	6,481	6,276	7,256	
1 株 当 た り 純 資 産 (円)	1,359.64	1,638.37	1,880.62	

売上高	8,484	8,204	8,365
営業利益	1,826	1,541	1,356
調整後 EBITDA	1,325	1,489	1,502
経常利益	1,880	1,549	1,357
親会社株主に帰属する当期純利益	1,205	1,066	938
1株当たり当期純利益(円)	529.57	468.73	412.26
1株当たり配当金(円)	120.00	190.00	170.00

	株式交換完全子会社 2	
(1) 名称	日本ビューテック株式会社	
(2) 所在地	長野県駒ヶ根市中沢 3175 番地 1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山崎 智士	
(4) 事業内容	1. 化粧品・医薬部外品の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品原料・医薬部外品原料の製造、販売及び輸出入 3. 石鹼の製造、販売及び輸出入 4. 石鹼原料の製造、販売及び輸出入 5. 日用雑貨の製造、販売及び輸出入 6. 菓子類の製造 7. 梱包業及び包装業 8. 倉庫業 9. その他上記各号に付帯する一切の事業	
(5) 資本金	1000 万円 (2023 年 11 月 30 日現在)	
(6) 設立年月日	1973 年 8 月 3 日	
(7) 発行済株式数	10,000 株 (2023 年 11 月 30 日現在)	
(8) 決算期	12 月 31 日	
(9) 従業員数	88 名 (2023 年 11 月 30 日現在)	
(10) 主要取引先	株式会社サティス製薬、化粧品販売会社	
(11) 主要取引銀行	埼玉りそな銀行、武蔵野銀行	
(12) 大株主及び持株比率	株式会社綺麗創造ホールディングス (2023 年 11 月 30 日現在)	100.00%

(13)	当事会社間の関係			
	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(14)	最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：百万円。特記しているものを除く。）			
	日本ビューテック株式会社（個別）			
	決算期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
	純資産	412	464	493
	総資産	647	609	623
	1株当たり純資産（円）	41,204.40	46,389.00	49,251.50
	売上高	543	616	546
	営業利益	126	116	104
	調整後 EBITDA	159	151	137
	経常利益	131	118	107
	親会社株主に帰属する当期純利益	87	83	58
	1株当たり当期純利益（円）	8,666.80	8,278.30	5,757.00
	1株当たり配当金（円）	4.84	13.63	12.75

6. 本株式交換後の状況

		株式交換完全親会社
(1)	名称	株式会社ユーグレナ
(2)	所在地	東京都港区芝五丁目29番11号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 出雲 充
(4)	事業内容	1.ユーグレナ等の微細藻類等の研究開発、生産 2.ユーグレナ等の微細藻類等の食品、化粧品の製造、販売 3.ユーグレナ等の微細藻類等のバイオ燃料技術開発、環境関連技術開発 4.バイオテクノロジー関連ビジネスの事業開発、投資等
(5)	資本金	158億6779万円
(6)	決算期	12月31日
(7)	純資産	現時点では確定しておりません。
(8)	総資産	現時点では確定しておりません。

7. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当し、当社によるサティス製薬及び日本ビューテックの取得処理となります。この処理に伴い当社側でのれんが発生する見込みですが、のれんが発生した場合における金額及び償却年数など、現時点では確定しておりませんので確定次第開示いたします。

8. 今後の見通し

本株式交換が当社の連結業績に与える影響等につきましては現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項)

本日開催の取締役会において、株式会社ナユタ（以下「ナユタ」といいます）についても、当社の完全子会社とする方針を決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。ナユタの株式譲受けは、株式交換効力発生日と同日の2024年2月1日を効力発生日とする予定です。ナユタの株式取得に関しては簡易株式交換を実施せず、現金を対価とした株式取得であるものの、ナユタはサティス製薬及び日本ビューテックと事業上の一体性を有するため、取引の全体像を示す観点からナユタの概要についても以下に記載いたします。

なお、ナユタの業績を踏まえ、ナユタの発行済株式1株あたり1円と評価し、買収価格は300円としております。

(1) 名 称	株式会社ナユタ	
(2) 所 在 地	東京都中央区八重洲 2-1-1 YANMAR TOKYO 12 階	
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 山崎 尋士 代表取締役 山崎 智士	
(4) 事 業 内 容	1. 化粧品の製造販売並びに輸出入、及び日用品雑貨の販売 2. 医薬部外品の製造販売 3. 鱈の軟骨を主成分とする加工食品の販売 4. 上記各号に附帯する一切の業務	
(5) 資 本 金	1500 万円 (2023 年 11 月 30 日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	1986 年 5 月 13 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	300 株 (2023 年 11 月 30 日現在)	
(8) 決 算 期	5 月 31 日	
(9) 従 業 員 数	37 名 (2023 年 11 月 30 日現在)	
(10) 主 要 取 引 先	株式会社サティス製薬、化粧品販売会社	
(11) 主 要 取 引 銀 行	三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行	
(12) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	株式会社綺麗創造ホールディングス 山崎 尋士 (2023 年 11 月 30 日現在)	80.00% 20.00%

(13)	当事会社間の関係			
	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(14)	最近3年間の経営成績（単位：百万円。特記しているものを除く。）			
	決算期	株式会社ナユタ（個別）		
		2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
	売上高	287	256	279
	営業利益	△81	△41	△26
	調整後 EBITDA	△70	△30	△17
(15)	直近の総資産額及び純資産額（単位：百万円。2023年5月末時点の金額）			
	総資産額	156		
	純資産額	△63		

（参考）当社の当期連結業績予想（2023年11月13日公表分）及び前期連結実績

（単位：百万円）

	連結売上高	調整後 EBITDA※	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2023年12月期)	45,000	1,800	—	—	—
前期連結実績 (2022年12月期)	44,392	2,648	△3,455	△2,489	△2,672

※ 調整後 EBITDA は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費)+助成金収入+株式関連報酬+棚卸資産ステップアップ影響額、として算出しております。

以上